

# Oracle Discoverer 3.1

---

## チュートリアル

1998 年 8 月

部品番号 A61498-1

**ORACLE®**

---

Enabling the Information Age Through Network Computing

---

Oracle Discoverer 3.1 チュートリアル

部品番号 : A61498-1

第 1 版 : 1998 年 8 月

原本名 : Oracle Discoverer 3.1 User Tutorial

原本部品番号 : A60963-01

原本主著者 : Paula Peplow, Christina Gibb, Dave Myres, Frances Buran

Copyright © Oracle Corporation, 1997

All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラムの使用、複製、または開示は、オラクル社との契約に記された制約条件に従うものとします。

本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。本書に問題を見つけたら、当社にコメントをお送りください。オラクル社は、本書の無謬性を保証しません。

危険な用途への使用について

当社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、又は医療の分野など、本質的に危険が伴うアプリケーションを用途として特に開発されておりません。当社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は顧客各位の責任と費用により行っていただきたく、万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、当社および開発元である米国 Oracle Corporation（その関連会社も含みます。）は一切責任を負いかねます。

ORACLE は、Oracle Corporation の登録商標です。

本文中の他社の商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

---

# 目次

はじめに .....	v
------------	---

## チュートリアル

サンプル・ワークブックの使用方法 .....	8
ワークブックを開く .....	8
Discoverer を開始してワークブックを開く .....	8
ページ アイテムを使用して表示を変更 .....	10
データの書式設定 .....	11
データ・フォントの編集 .....	11
ワークシート・タイトルの編集 .....	12
タイトルへの変数の挿入 .....	13
ビットマップのタイトルへの追加 .....	14
異なるワークシートの表示 .....	14
データのドリル .....	15
ドリル・ダウン .....	16
置換ドリルの実行 .....	17
レイアウトの変更 .....	19
グラフの作成 .....	21
グラフの作成 .....	22
グラフのデータ系列の編集 .....	25
グラフのタイプとスタイルの変更 .....	25
作成したワークブックの印刷及び保存 .....	26
例外の作成 .....	27
例外の書式設定 .....	29
関連データへのドリル .....	31

ワークシートの名前変更.....	33
外部アプリケーションへのドリルアウト.....	33
他のフォーマットによるデータのエクスポート.....	34
データを .HTML ファイルとしてエクスポート.....	34
レポートを添付ファイルとして電子メールで送信する.....	36
ワークブックの作成.....	38
デフォルト書式の変更.....	38
ワークブック ウィザードを使用してワークシートを作成.....	39
ワークシートのレイアウトの変更.....	41
データのソート.....	43
ユーザー定義アイテムの作成.....	45
総収益の計算.....	45
列幅の自動調整.....	49
パーセントの計算.....	51
表レポートをクロス集計として複製.....	53
新規ワークブックの保存.....	55
ワークシートへのアイテムの追加.....	55
平均値の計算.....	58
ワークブックのスケジュール.....	60
スケジュールされたワークブックを開く.....	62

---

# はじめに

このチュートリアルでは、Oracle Discoverer 3.1 の強力な機能を簡単に使用方法を説明します。最初に Discoverer の新規ユーザーのためのレッスンから始め、基本機能を紹介し、データ表示および分析に使用可能な多数のオプションについて説明します。

チュートリアルでは、Discoverer の技術的な機能を理解しやすいように手順を追って説明します。後半のセクションでは、ワークシートやワークブックのデータを操作する高度な機能を説明します。

## 対象読者

このチュートリアルは、データの表示、分析、および編成を行うビジネス専門家を対象にしています。Discoverer の基本機能を説明してから他の強力な機能を多数紹介します。Discoverer やこのチュートリアルを使用するにあたって、データベースに関する知識は必要ありません。

## 関連文書

この製品の詳細は、Oracle Discoverer 3.1 ドキュメンテーション・セットにある以下のマニュアルを参照してください。

- 『Oracle Discoverer 3.1 リリース・ノート』
- 『Oracle Discoverer 3.1 ユーザーズ・ガイド』
- 『Oracle Discoverer 3.1 管理ガイド』

## 表記規則

このマニュアルでは、Discoverer は、Oracle Discoverer 3.1 を示します。



---

# チュートリアル

Discoverer User Edition は、ビジネス・ユーザーがデータベース情報を検索するためのデータ・アクセス用ツールです。Discoverer は使いやすいツールで、データの問合せ、分析、およびレポート作成について論理的で直観的なインタフェースを提供します。

このチュートリアルでは、Discoverer の基本機能を紹介します。各ステップでは、ユーザーがそれまでのステップを完了していることを前提としています。

このチュートリアルで説明するトピックは、次のとおりです。

- サンプル・ワークブックの使用法
- ワークブックを開く
- データの書式設定
- データのドリル
- レイアウトの変更
- グラフの作成
- 作成したワークブックの印刷および保存
- 例外の作成
- 関連データへのドリル
- ワークシートの名前変更
- 外部アプリケーションへのドリルアウト
- 他のフォーマットによるデータのエクスポート
- ワークブックの作成
- ユーザー定義アイテムの作成
- ワークブックのスケジュール

このチュートリアルでは、ユーザーが Discoverer User Edition を起動して実行するための基本的な手順を説明します。ここで説明されていない他の機能の詳細は、オンライン・ヘルプを参照してください。

# 1 サンプル・ワークブックの使用法

ここでは、ビデオのレンタルと販売を行う会社の本部で働いている場合を想定し、例として、過去 2 年間におけるビデオのレンタルと販売から得られた収益の傾向を調べます。そのために国内 20 店舗での 1995 年と 1996 年の 2 年間の取引情報が入っているデータベースに情報を問合せます。

サンプル・ワークブック Vid31ja.DIS には、会社の売上情報が含まれています。Vid31ja.DIS を使用して、国内 20 店舗からの過去 2 年間におけるビデオのレンタルおよび販売から得られた収益の傾向を分析します。地域間で売上を比較して、合計とパーセントを計算し、売上データを分析して見やすく目立つ書式で表示します。

## 2 ワークブックを開く

ワークブックは、各ページにビジネス分析用の特定のデータ・セットが書き込まれた複数ページのバインダと考えてください。必要な特定の情報を取り出すワークブックは、データベース管理者がすでに作成していますので、そのワークブックを開くだけでよいのです。

---

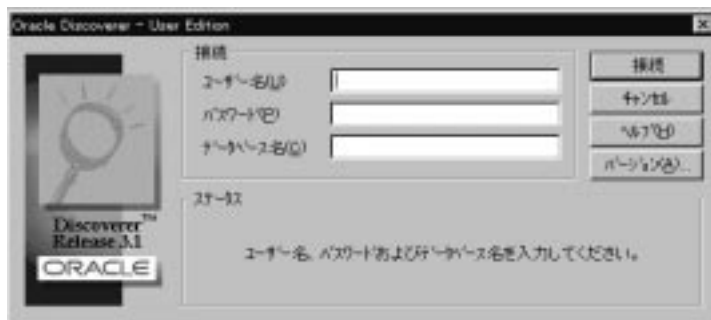
注意：

個別の要件に合わせて新規ワークブックを作成するには、[第 13 項の「ワークブックの作成」](#)を参照してください。

---

### 2.1 Discoverer を開始してワークブックを開く

1. 「スタート」メニューから、「プログラム」 「Oracle Discoverer 3.1」 「Oracle Discoverer」と選択する。



2. 「Oracle Discoverer - User Edition」ダイアログ・ボックスにユーザー名、パスワードおよびデータベース名を入力する。通常これらの情報は、データベース管理者から提供されます。



## 3. 「接続」をクリックする。

ワークブック ウィザードが表示されます。このウィザードで、既存のワークブックを開いたり新規のワークブックを作成したりします。



## 4. 「既存のワークブックを開く」をクリックする。

## 5. 「マイ コンピュータ」を選択すると、「開く」ダイアログ・ボックスが表示されます。

## 6. ファイル [ORACLE\_HOME]¥DISCVR31¥Vid31ja.DIS を選択し、「開く」をクリックする。

注意：画面写真では Vidstr31.dis となっています。

[ORACLE\_HOME] は、データベース管理者が設定した Oracle 製品用のディレクトリです。

## 7. このワークシートで問合せを実行するかどうか質問が表示されたときは、「はい」をクリックする。

ワークブックが開きます。これはビデオの販売とレンタルのビジネスに関する売上情報のテーブル・レイアウトのレポートです。1995 年と 1996 年のビデオ・レンタル部門とビデオ販売部門の成績が表示されています。East 地域の売上成績がその他の地区の成績より優れていることが一目でわかります。また、1995 年の総収益が 407,986 円であることもわかります。

2 ワークブックを開く

Oracle Discoverer - [Video31.dia]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ワークシート(S) 書式(O) ツール(T) クエリ(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS Fコシック

**Analysis of Video Rentals and Video Sales**

ページアイテム: Year: 1995

	Region	Department	Profit SUM
1	Central	Video Rental	¥45,055
2		Video Sale	¥74,735
3			Total for Central: ¥119,790
4	East	Video Rental	¥69,902
5		Video Sale	¥115,590
6			Total for East: ¥185,492
7	West	Video Rental	¥37,892
8		Video Sale	¥65,113
9			Total for West: ¥103,005
10			Total for すべての値: ¥407,986

テーブル レイアウト / クロス集計 レイアウト

列キーを選択する方が表示されます。

2.2 ページ アイテムを使用して表示を変更

現在開いているワークブックには、上部にあるページアイテムで定義されているように、1995 年の収益が表示されています。今度は 1996 年の収益を見てみましょう。

- ページ アイテム「Year: 1995」の下矢印をクリックし、プルダウン・リストから「1996」を選択します。

Oracle Discoverer - [Video01.dia]

ファイル(F) 編集(E) 表示(O) ワークシート(S) 書式(M) ツール(T) ヘルプ(H) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Analysis of Video Rentals and Video Sales

ページアイテム: Year: 1995 1996

	Region	Department	Profit SUM
1	Central	Video Rental	¥45,055
2		Video Sale	¥34,735
3			Total for Central: ¥119,790
4	East	Video Rental	¥69,902
5		Video Sale	¥115,690
6			Total for East: ¥185,592
7	West	Video Rental	¥37,892
8		Video Sale	¥65,113
9			Total for West: ¥103,005
10			Total for すべての値: ¥407,986

キーを押すとこの方法が表示されます。

これで、1996 年の地域別収益が表示されます。前年よりも各地域の収益が増加している点に注目してください。全地域の総収益は、479,052 円になっています。

## 3 データの書式設定

フォント、色およびサイズを変更して、データの表示方法を自分の好みに合わせることができます。ひとまとまりのデータを見やすく表示するには、ワークシートのタイトルの編集、ヘディングの色の変更、データのテキストの書式設定、および線や行間隔の追加を行います。

この項では、データの書式およびタイトルを編集して、ワークシートを見やすく目立つようにします。

### 3.1 データ・フォントの編集

- 「Total for Central: ¥119,790」というラベルのセルを選択する。
- メニューから「書式」「データ」と選択する。「フォント」タブが自動的に選択された状態で「データの書式設定」ダイアログ・ボックスが表示されます。

3. サイズを 11 に変更する。

注意：

「適用」ボタンをクリックすると、ダイアログ・ボックスを開いたままで変更できます。

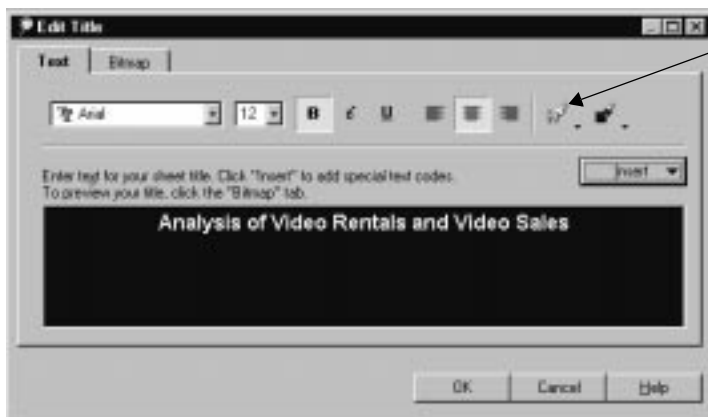
4. 「スタイル」を「太字」に変更します。
5. 「OK」をクリックする。

これでデータの書式が設定され、総計データが読みやすくなりました。これらのオプションはすべていつでも変更できます。色、サイズ、またはフォントは自由に選択でき、さらに他のスタイルを選択し、データの文字位置を編集することもできます。

## 3.2 ワークシート・タイトルの編集

現在のタイトルでは内容がよくわかりません。タイトルに会社名、変数および図形を追加してワークシートを個性的に編集します。

1. 「ワークシート」 「タイトルの編集」と選択する。「タイトルの編集」ダイアログ・ボックスが開きます。



文字色ボタン

2. タイトルの末尾にカーソルを置き、[Enter] キーを押してタイトルに 1 行のテキストを追加する。会社名をタイプします。独自の名前を考えてください。
3. タイトル・テキスト「Analysis of Video Rentals and Video Sales」という部分を選択する。

4. フォントサイズを「14」にし、色を「赤」に変更する。

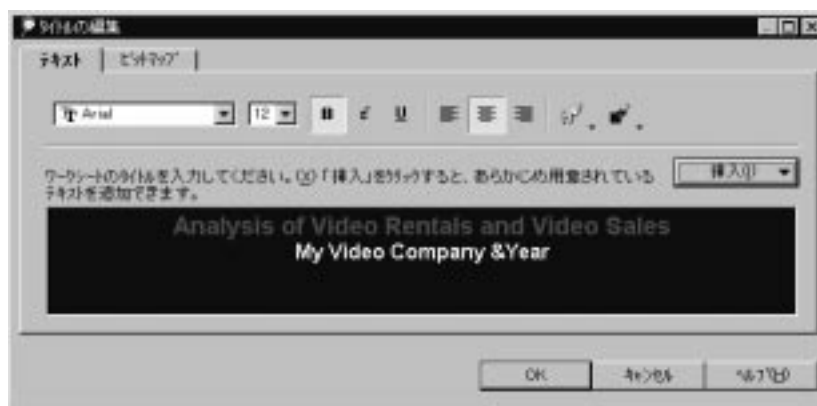
ヒント：

文字の色を変更するには、ダイアログ・ボックスの右上の「文字色」ボタンを使用します。カラー・パレットが表示されますので好みの色を選択してください。

### 3.3 タイトルへの変数の挿入

1. 「タイトルの編集」ダイアログ・ボックスの、テキスト タブで、会社名の末尾にカーソルを置き、スペースを数個追加する。
2. 「挿入」ボタンをクリックし、「ページアイテム」を選択する。会社名の末尾に「&Year」が追加されます。

この変数「&Year」は、データに置き換えられてタイトルに表示されます。今あなたが見ているデータは 1996 年のものですから、タイトルに 1996 と置き換えられて表示されます。もし 1995 年のデータを表示するように元に戻したら、タイトルも 1995 に変わります。



タイトルに会社名および年の表示を追加して、ワークシートのタイトルの編集が完了しました。さらに、このダイアログ・ボックス内で、タイトルにビットマップ図形を追加します。

## 3.4 ビットマップのタイトルへの追加

1. 「ビットマップ」タブを選択する。
2. 「開く」ボタンをクリックする。「ファイルを開く」ダイアログ・ボックスが表示されます。
3. `c:\¥Windows¥` に移動し、「しゃぼん玉 .bmp」を選択する。これは Windows システムに組み込まれているはずです。このファイルが見つからない場合は、別のビットマップ・ファイルを選択します。
4. 「ビットマップの表示」では「テキストと重ねない」を選択する。
5. 「OK」をクリックすると、ワークシートの上部にタイトルが表示される。

これでワークシートは編集されてデータの書式が整い、ワークシートが読みやすく、分析が容易になりました。ここで、ビジネス上の正確な意思決定に役立つ販売上の例外事項を明らかにするために、データの分析を開始します。

## 3.5 異なるワークシートの表示

同一情報を 1 つのワークブック内の異なるワークシート・スタイルで表示できます。このワークブックには 2 つのワークシートが含まれています。1 つは、テーブル・レイアウトでデータを表示するもので、これはすでに学んでいます。もう 1 つは、クロス集計レイアウトでデータを表示するものです。

クロス集計レイアウトでは、ワークシートに行軸を追加することによって分析に別の次元を追加します。Discoverer では、行、列、ページ アイテム、およびデータ ポイントなどを使用して、情報を表示し、分析の精度を高めるために多くの次元を提供しています。行ヘディングは左軸に沿って位置づけられ、列ヘディングは上軸に沿って位置づけられています。また、ページ アイテムはワークシートの上部にあり、ページ軸に沿って位置づけられています。ここで、Vid31ja.DIS で提供されているクロス集計ワークシートを見てみましょう。

テーブル・レイアウトのワークシートで、East 地域がビデオ販売の収益では第一位であることがわかっています。クロス集計ワークシートを使用すると、別の角度からこの情報を表示し、業績が伸びている地域と何らかの対策が必要な地域が一目でわかります。

1. 画面下部にある「クロス集計レイアウト」タブをクリックする。
2. 問合せを実行するかが確認されたら、「はい」をクリックする。

Department: Video Rental		Profit SUM	
		1995	1996
Central		¥45,065	¥45,601
East		¥69,502	¥69,987
West		¥37,892	¥40,077

全地域のビデオ販売およびレンタルに関する同年度のデータが、別のスタイルで表示されます。

## 4 データのドリル

このクロス集計レイアウトでは、1995 年と 1996 年の地域別の収益が表示されています。年間を通してのビデオ販売およびレンタルについて詳細な情報を参照するには、四半期および月別の収益を調べます。

Discoverer を使用すると、新規のワークブックまたはワークシートを作成することなく、別のレベルのデータを参照できます。この操作を「ドリル」と呼びます。ここでは、2 つの異なるタイプのドリルを実行します。1 つは、年から四半期への拡張ドリル、もう 1 つは、四半期から月への置換ドリルです。

拡張および置換ドリルのどちらも、同一データの別のレベルにドリルできます。このチュートリアルの後半、[第 9 項の「関連データへのドリル」](#)で関連データの明細にドリルします。

### 4.1 ドリル・ダウン

このビデオ会社の例では、四半期ごとに収益明細を調べます。

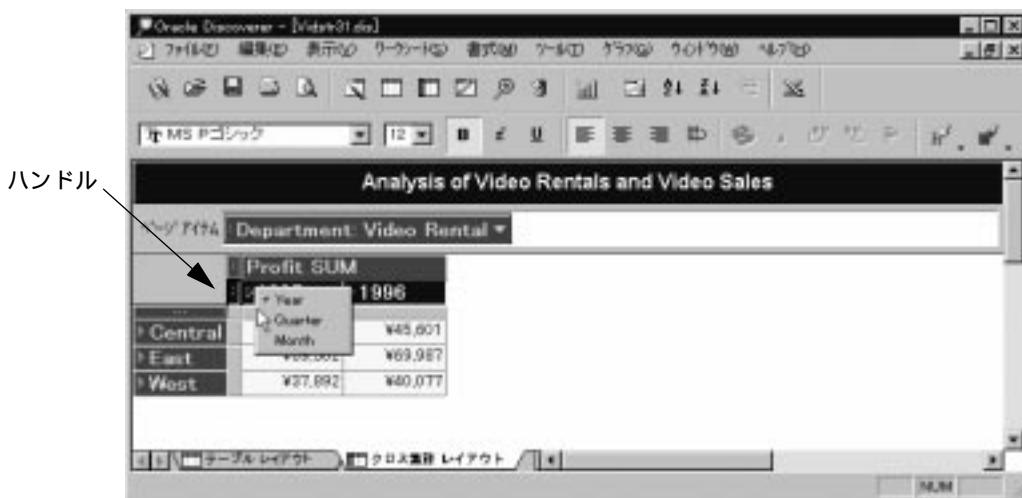
1. 1995 年の左に表示されているハンドルをクリックすると、両方の「Year」アイテムが選択されます。

ヒント：

ハンドルとは、上軸に沿って位置するヘディングの左または左軸上のヘディングの上部にある点線の四角形です。下の図を参照してください。

2. 「1995」の左にある右向き三角形にカーソルを置く。カーソルが虫メガネに変わりますので、それをクリックします。

参照できるレベルのリストが表示されます。現在表示されている情報のレベルがチェックされています。



3. 「Quarter」を選択する。

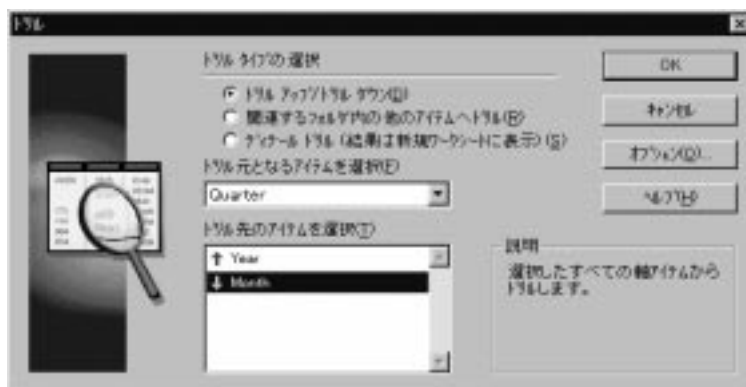


四半期ごとの年間収益の明細を含んだクロス集計ワークシートが表示されます。

Analysis of Video Rentals and Video Sales								
Department: Video Rental								
Profit SUM								
	1995				1996			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Central	¥10,414	¥11,198	¥10,298	¥13,045	¥10,817	¥10,887	¥11,864	¥12,000
East	¥16,703	¥17,520	¥16,939	¥18,280	¥16,250	¥16,609	¥17,799	¥19,000
West	¥9,547	¥9,250	¥8,845	¥10,341	¥9,008	¥9,343	¥10,350	¥11,000

## 4.2 置換ドリルの実行

1. ハンドルをクリックし、「Quarter」アイテムを選択します。1995 年および 1996 年の全ての「Quarter」が選択されます。
2. メニューで、「ワークシート」「ドリル」と選択する。「ドリル」ダイアログ・ボックスが開きます。



3. 「ドリルアップ / ドリルダウン」が選択されていることを確認する。
4. 「ドリル先のアイテムを選択」リストから、「Month」を選択する。

- 「オプション」をクリックする。「ドリル オプション」ダイアログ・ボックスが開きます。



- 「現在のアイテムと置換」を選択する。
- 「OK」をクリックし、「ドリル オプション」ダイアログ・ボックスを閉じる。
- 「OK」をクリックし、「ドリル」ダイアログ・ボックスを閉じ、ドリルを実行する。

これで、両年度の年別および月別データが表示されます。

Analysis of Video Rentals and Video Sales

Department: Video Rental

Profit SUM		1995							
		Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug
Central		\$3,231	\$3,549	\$3,583	\$3,955	\$3,790	\$3,553	\$3,735	\$4,000
East		\$5,611	\$5,192	\$5,951	\$5,699	\$5,752	\$6,078	\$6,628	\$6,000
West		\$3,133	\$3,096	\$3,317	\$2,781	\$3,178	\$3,300	\$3,309	\$3,000

ここで表示されているのは、1995 年の月別収益明細です。1996 年の月別収益を表示するには、右にスクロールしてください。

## 5 レイアウトの変更

各年の同じ月毎に比較できると、さらに便利です。各軸間のデータベース・アイテムを簡単に入れ替え（ピボット）し、ワークシートのデータ表示および分析方法を大幅に変更することができます。

1. 「Month」のハンドルをクリックして、すべての月を選択する。
2. それをドラッグして「Year」ヘディングの上にドロップする。

Oracle Discoverer - [Video81.dad]

Analysis of Video Rentals and Video Sales

ページ 7456 Department: Video Rental

Profit SUM

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug
Central	\$0,282	\$0,549	\$0,583	\$0,855	\$0,790	\$0,552	\$0,735	\$0,711
East	\$5,611	\$5,192	\$5,951	\$5,699	\$5,752	\$6,078	\$6,528	\$6,528
West	\$0,133	\$0,096	\$0,317	\$2,781	\$0,178	\$0,300	\$0,309	\$0,309

タプルレイアウト クロス集計 レイアウト

これで、異なる年の同じ月について簡単に比較できます。

Oracle Discoverer - [Video81.dad]

Analysis of Video Rentals and Video Sales

ページ 7456 Department: Video Rental

Profit SUM

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug
Central	\$0,282	\$0,549	\$0,583	\$0,855	\$0,790	\$0,552	\$0,735	\$0,711
East	\$5,611	\$5,192	\$5,951	\$5,699	\$5,752	\$6,078	\$6,528	\$6,528
West	\$0,133	\$0,096	\$0,317	\$2,781	\$0,178	\$0,300	\$0,309	\$0,309

タプルレイアウト クロス集計 レイアウト

- 「Year」のハンドルをクリックしてドラッグし、左軸上の「Region」にドロップします。年が左軸に表示されます。

左軸に沿って各年の下に全地域の月別収益が表示されます。同一年内にある各月の全地域の総計も表示されます。

The screenshot shows the Oracle Discoverer interface with a pivot table titled "Analysis of Video Rentals and Video Sales". The pivot table is set to "Department: Video Rental". The columns represent months from Jan to Aug, and the rows represent years and regions. The data is summarized in the table below:

	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug
1995	¥12,025	¥11,837	¥12,851	¥12,335	¥12,721	¥12,932	¥13,671	¥
Central	¥3,282	¥3,549	¥3,593	¥3,855	¥3,790	¥3,553	¥3,735	
East	¥5,611	¥5,192	¥5,951	¥5,699	¥5,752	¥6,078	¥6,828	
West	¥3,133	¥3,096	¥3,313	¥2,781	¥3,178	¥3,300	¥3,309	
1996	¥12,652	¥10,927	¥12,498	¥12,122	¥12,728	¥11,990	¥13,338	¥
Central	¥3,899	¥3,272	¥3,648	¥3,797	¥3,698	¥3,392	¥4,025	
East	¥5,665	¥5,088	¥5,500	¥5,162	¥5,888	¥5,562	¥5,984	
West	¥3,088	¥2,569	¥3,350	¥3,164	¥3,143	¥3,036	¥3,319	

簡潔に、一度に1年度分だけを表示することもできます。

- 「Year」をページ軸までドラッグし、「Department」の後ろにドロップする。

Oracle Discoverer - [Video01.dws]  
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ワークシート(S) 書式(O) ツール(T) ヘルプ(H) 設定(C)  
 MS F3シフト  
 Analysis of Video Rentals and Video Sales  
 ページアイテム Department: Video Rental Year: 1995  
 Profit SUM  

	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug
Central	¥3,235	¥3,549	¥3,583	¥3,855	¥3,790	¥3,553	¥3,735	¥4,2
East	¥5,811	¥5,192	¥5,951	¥5,899	¥5,752	¥6,078	¥6,628	¥5,9
West	¥3,133	¥3,096	¥3,311	¥2,781	¥3,178	¥3,300	¥3,309	¥3,4

 グラフメニュー レイアウト  
 NUM

ここまでの説明で、Discoverer を使用すると、データを迅速にしかも多くの違った角度から参照することが簡単にでき、ビジネス傾向の分析や意思決定に確実に役立つ機能が準備されていることがおわかりのことと思います。

## 6 グラフの作成

多くの場合、ビジネス分析の結果は他人にレポートする必要があります。ここまで習得した書式設定ツールを使用して、わかりやすく機能的なレポートを作成できます。分析結果を発表する時には、背景となる情報を提供したり、あるいは多様なレポート作成方法を利用できます。

Discoverer では、別のレポート作成ツールが準備されていて、情報を簡単にグラフ表示することができます。この項では、地域別ビデオ・レンタル統計からグラフを作成します。ワークシートは、前出の図に従って設定し、「Department」ページアイテムから「Video Sale」と、「Year」ページアイテムから「1995」を表示します。

## 6.1 グラフの作成

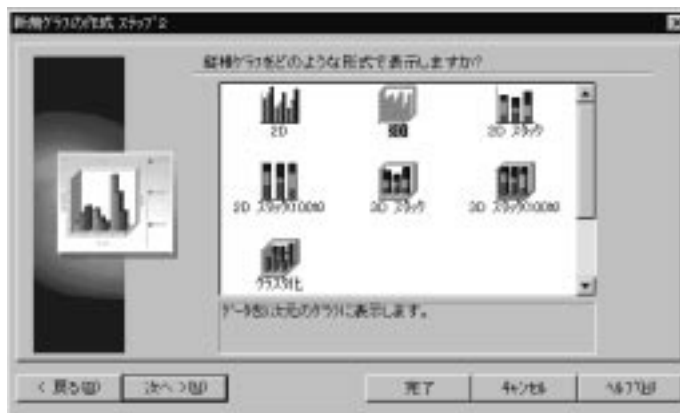
1. ツールバーの「グラフ」アイコンをクリックする。「新規グラフの作成」ウィザードが開きます。

ヒント：

ツールバー・アイコンへカーソルを移動してしばらくすると、アイコン名がポップアップします。



2. グラフのタイプから「縦棒」を選択し、「次へ」をクリックする。「新規グラフの作成 ステップ 2」ダイアログ・ボックスが開きます。



3. 「3D」形式を選択し、「次へ」をクリックする。「新規グラフの作成 ステップ3」ダイアログ・ボックスが開きます。



4. グラフ内のどの余白にも、タイトルを入力できます。たとえば「上」フィールドに「1995 Video Rental Profit」と入力します。
5. 「軸ラベル フォント」の下に「X 軸フォント」をクリックし、軸に対しフォントの書式設定を行う。Y 軸に対しても同じ操作をします。フォントの書式設定は自由です。
6. 「次へ」をクリックする。「新規グラフの作成 ステップ 4」ダイアログ・ボックスが開きます。

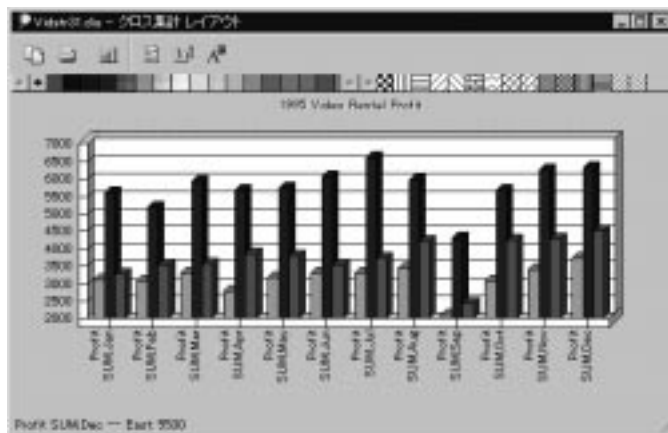


7. 「Y 軸のスケール」で、「最大値」を 7000、「最小値」を 2000、「小数点以下の桁数」を 0 に設定する。
8. 「罫線の表示」の下の「水平罫線」を選択する。

9. 「系列」では、「行」を選択する。

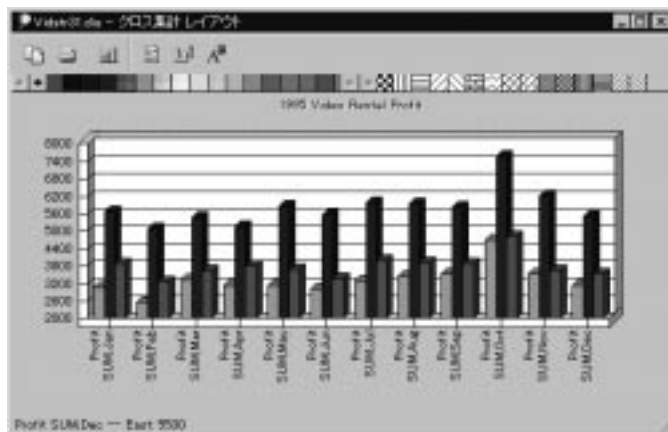
下のフィールドに X 軸上にあるデータ ポイントおよびデータ系列の種類が表示されていることを確認してください。

10. 「完了」をクリックする。



このグラフは、1995 年の全地域の月別収益を表示しています。カーソルを縦棒の上で移動させると、画面の左下部分に、参照している地域とデータ項目およびグラフ表示されている値が表示されます。

11. ワークシート上で、「Year」ページアイテムを 1995 から 1996 に変更する。するとデータを反映してグラフも更新されます。





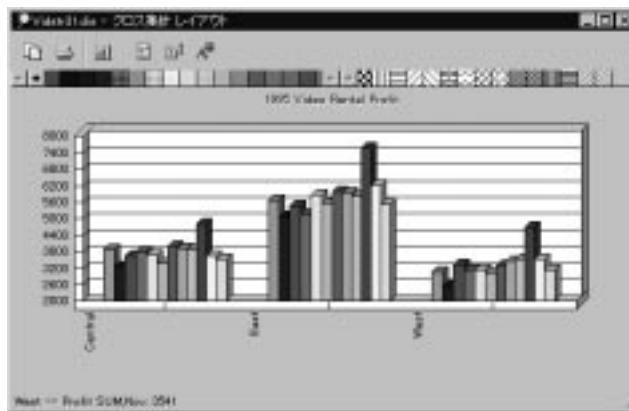
## 6.2 グラフのデータ系列の編集

現在参照しているのは月ごとの地域別収益で、データ系列は列で編成されています。ここでは、行編成により各地域の月別収益を表示します。

1. グラフ内にカーソルを置き、右クリックをして、ポップアップ・メニューを表示する。
2. 「データ系列を行に変更」を選択する。

ヒント：

「グラフ」メニューから「表示」メニュー項目を選択することにより、このオプションを選択することもできます。



同年の各地域の月別収益がグループ化され、3つの地域を表す3つのまとまりとして表示されていることに注目してください。このグラフを使用して1つの地域全体の収益傾向を他の地域のものと比較することができます。その結果、East地域の収益がその他の地域に比べわめて高いことがわかります。

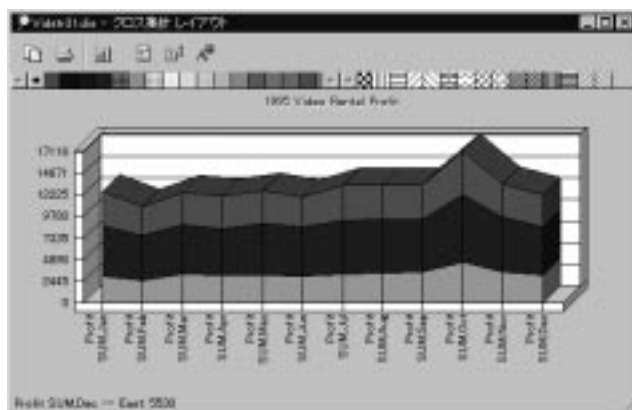
3. ステップ1を繰り返して「データ系列を列に変更」を選択し、前の画面に戻る。

## 6.3 グラフのタイプとスタイルの変更

次に、別の観点から見たデータ表示にするために、グラフのタイプおよびスタイルの編集方法を学びます。

1. メニューから「グラフ」「グラフの編集」と選択する。「グラフの変更」ダイアログ・ボックスが開きます。
2. 「タイプ」タブを選択し、「面」グラフ・アイコン（左上隅）を選択する。

3. 「形式」タブから「3D スタック」を選択し、「OK」をクリックする。



このグラフでは、各地域の収益が互いに重なり合って表示されていますが、その重なり合った高さが連結した高さで、1996 年の連結月別収益を示しています。カーソルを各スタックの上で左右に移動させ、地域の収益の値を個別に調べます。この種類のグラフは、各地域の収益を、その他の地域との比較ではなく、総合計に対する貢献度に関連させて示しています。

4. ワークシート上部にあるツールバーのグラフ・アイコンをクリックしてグラフを閉じる。

## 7 作成したワークブックの印刷および保存

Discoverer では、分析で明らかになった特定のデータの傾向をプレビューおよび印刷できます。手順は次のとおりです。

- メニューから「ファイル」「印刷プレビュー」と選択し、印刷時にワークシートがどのように表示されるかを確認する。
- メニューから「ファイル」「ページ設定」と選択して、ページ設定を調節する。
- メニューから「ファイル」「印刷」と選択して、現行のワークシートを印刷する。
- メニューから「ファイル」「上書き保存」と選択して、ワークブックへの変更内容を保存する。
- メニューから「ファイル」「名前を付けて保存」と選択して、ワークブックを他の名前前で保存する。既存のワークブックの情報を上書きしない場合は、このオプションを使用します。

### ワークシートの保存

ここで一時中断する場合には、固有ファイル名でワークブックを保存してください。チュートリアルの実行中に1つの項が終了した時点で中断し、また後でチュートリアルに戻ることができます。

1. メニューから「ファイル」「名前を付けて保存」と選択する。「ワークブックの保存」ダイアログ・ボックスが表示されます。
2. 「マイ コンピュータ」を選択し、「保存」をクリックする。「名前を付けて保存」ダイアログ・ボックスが表示されます。
3. ワークブックをユーザー名または別の固有の名前で保存する。こうすることで、元のワークブックは保護され、後で中断した箇所に戻ることができます。

## 8 例外の作成

ビデオ販売データベースで分析したデータでは、East 地域の収益がその他の地域よりきわめて高いことを示しています。この East 地域を詳しく調べるには、地域データにドリル・ダウンして個別の都市の収益を調べます。

データを分析するときは、特定の範囲内または範囲外の情報を強調する必要があります。Discoverer の例外の作成機能を使用すると、こういった記録を強調することができます。

例外データを表示するには、各地域および都市の月別収益を検索します。Discoverer のドラッグ・アンド・ドロップ機能を使用して、例外を設定します。

ワークシートの設定は次の方法で行います。

1. クロス集計レイアウトを、Vid31ja.DIS から選択する。
2. 「Department」ドロップダウン・リストから「Video Sale」を選択する。
3. 「Year」ドロップダウン・リストから「1996」を選択する。
4. East 地域から「City」にドリル・ダウンする。ドリルの詳細は、[第4項の「データのドリル」](#)を参照してください。
5. 上軸に、「Profit SUM」と「Month」が表示されます。

6. 左軸に、「Region」と「City」が表示されます。

Oracle Discoverer - [Vid1jada]

Analysis of Video Rentals and Video Sales

Department: Video Sale Year: 1996

	Profit SUM					
	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun
Central	\$1,835	\$3,361	\$7,280	\$9,353	\$6,625	\$5,124
East	\$12,280	\$12,057	\$11,159	\$10,640	\$11,124	\$9,124
Atlanta	\$715	\$1,143	\$486	\$667	\$266	\$1,124
Boston	\$934	\$1,407	\$1,100	\$465	\$1,219	\$1,124
Miami	\$348	\$484	\$522	\$305	\$468	\$1,124
New Orleans	\$384	\$655	\$813	\$197	\$1,051	\$1,124
New York	\$4,462	\$5,318	\$4,808	\$4,771	\$5,972	\$3,124
Philadelphia	\$1,780	\$1,572	\$1,355	\$1,573	\$1,494	\$1,124
Pittsburgh	\$1,215	\$934	\$220	\$899	\$899	\$1,124
Washington	\$2,382	\$375	\$2,059	\$1,782	\$1,765	\$1,124
West	\$7,839	\$6,185	\$7,811	\$9,420	\$4,947	\$5,124

## 8.1 例外の書式設定

1. メニューから「書式」「例外」と選択する。「例外」ダイアログ・ボックスが開きます。



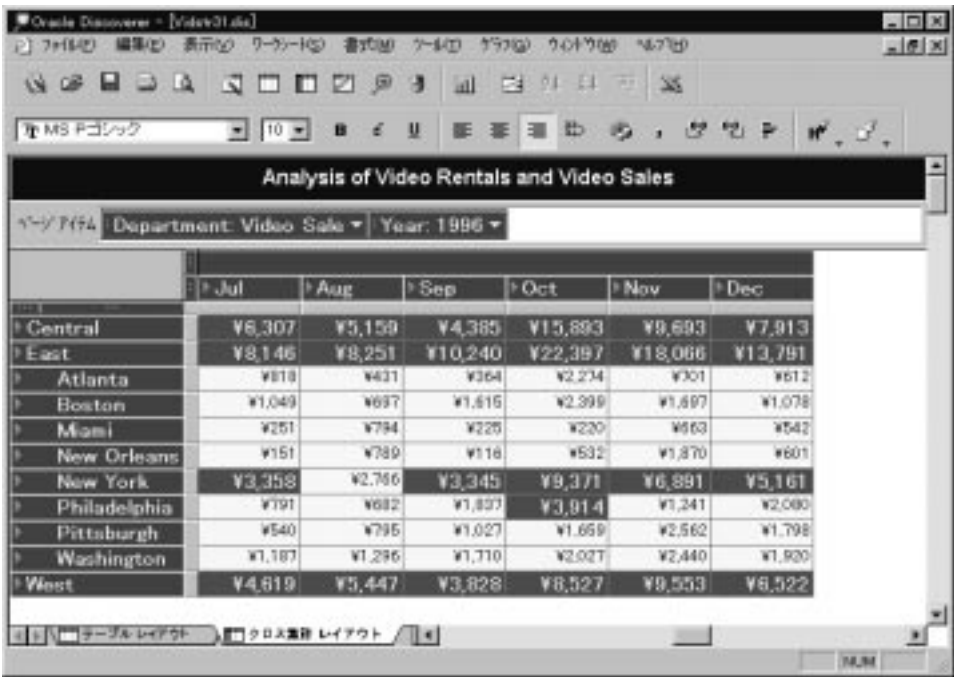
2. 「例外の表示」ドロップダウン・リストから「Profit SUM」を選択して、「新規作成」をクリックする。「例外の書式」ダイアログ・ボックスが開きます。



3. 例外の発生時点を定義するには、それぞれのドロップダウン・リストから次のパラメータを選択する。値（3,000）は直接入力する必要があります。
  - Profit SUM
  - 3000
  - より小さい
4. 「表示書式の設定」で、フォントサイズを「12」に、スタイルを「太字」に、文字色を「黄色」に設定し、書式表示を編集する。背景色はデフォルトの赤のままです。

「サンプル」ボックスで設定をプレビューします。

- 5. 「OK」をクリックして、「例外の書式」ダイアログ・ボックスを閉じる。
- 6. 「OK」をクリックして、「例外」ダイアログ・ボックスを閉じる。



	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
Central	¥6,307	¥5,159	¥4,385	¥15,893	¥8,693	¥7,913
East	¥8,146	¥8,251	¥10,240	¥22,397	¥18,066	¥13,791
Atlanta	¥818	¥431	¥364	¥2,274	¥701	¥612
Boston	¥1,049	¥697	¥1,615	¥2,399	¥1,697	¥1,078
Miami	¥251	¥794	¥225	¥220	¥663	¥542
New Orleans	¥151	¥789	¥116	¥532	¥1,870	¥601
New York	¥3,358	¥2,766	¥3,345	¥9,371	¥6,891	¥5,161
Philadelphia	¥791	¥682	¥1,897	¥3,914	¥1,341	¥2,080
Pittsburgh	¥540	¥795	¥1,027	¥1,659	¥2,562	¥1,798
Washington	¥1,187	¥1,296	¥1,710	¥2,027	¥2,440	¥1,920
West	¥4,619	¥5,447	¥3,828	¥8,527	¥8,553	¥6,522

ここでは、収益が 3,000 円を超える月は、赤い背景で表示されています。ニューヨークでの収益が際立って高く、East 地域で一番収益多い店舗であることが分かります。他の店舗の約 3 倍です。この店舗が East 地域全体の成功に大きく寄与していることがはっきりわかります。

ここで一旦ワークブックを上書き保存することをお勧めします。次項はここから続けます。

## 9 関連データへのドリル

Discoverer の例外作成機能によって、1996 年 10 月のニューヨーク各店の収益が急激に増加していることが明らかになりました。Discoverer のディテールドリル機能情報または関連情報にドリルする機能を使用して、この急激な増加の原因を検索するためにさらに調査を行います。

以前に保存したワークブックで、クロス集計レイアウト・ワークシートは次のように設定されたはずです。

- ページ軸に「Video Sale」と「1996」を表示。
- 左軸に「Region」を表示し、「East」地域が「City」へドリル・ダウン。

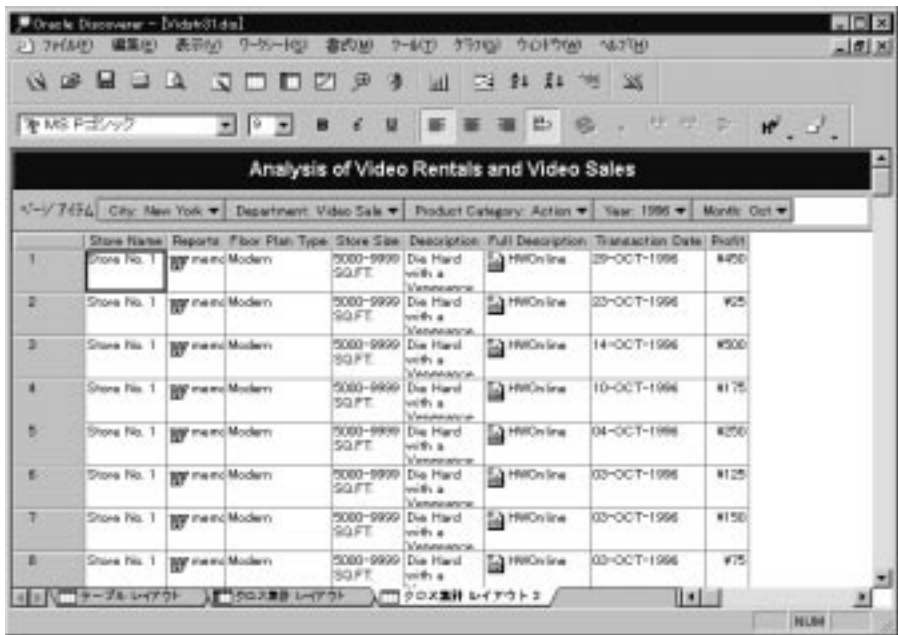
### 関連データへのドリル

1. 1996 年 10 月のニューヨーク各店の収益 (9,371 円) を示すセルをダブルクリックする。  
「ドリル」ダイアログ・ボックスが表示されます。



2. 「ディテールドリル (結果は新規ワークシートに表示)」を選択する。

3. 「Stores and Sales Details」を選択する。



The screenshot shows the Oracle Discoverer interface with a table titled "Analysis of Video Rentals and Video Sales". The table has the following columns: Store Name, Reports, Floor, Plan Type, Store Size, Description, Full Description, Transaction Date, and Profit. The data is filtered by City: New York, Department: Video Sale, Product Category: Action, Year: 1996, and Month: Oct. The table contains 8 rows of data.

	Store Name	Reports	Floor	Plan Type	Store Size	Description	Full Description	Transaction Date	Profit
1	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	25-OCT-1996	\$450
2	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	23-OCT-1996	\$625
3	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	14-OCT-1996	\$900
4	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	10-OCT-1996	\$175
5	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	04-OCT-1996	\$250
6	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	03-OCT-1996	\$125
7	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	03-OCT-1996	\$150
8	Store No. 1	HW	main	Modern	5000-9999 SQ.FT.	Die Hard with a Vengeance.	HWOnline	03-OCT-1996	\$75

ニューヨーク各店のビデオ販売の詳細を示す新規ワークシートが表示されます。このワークシートには、ニューヨーク各店の収益が高い理由を説明するレポートやメモが含まれています。

このワークシートの名前を変更した後、他のアプリケーションにドリルアウトして、この新規ワークシート内のデータを表示します。



## 10 ワークシートの名前変更

新規ワークシートの名前を変更するのは簡単です。タブをダブルクリックするだけです。

1. ワークブックの下にある「クロス集計レイアウト 2」タブをダブルクリックする。「ワークシートの名前を変更」ダイアログ・ボックスが開きます。



2. 「NY Sales Increase」とタイプする。
3. 「OK」をクリックする。

ここでワークブックを上書き保存します。新規ワークシートも一緒に保存されます。

## 11 外部アプリケーションへのドリルアウト

Discoverer のドリルアウト機能は、別のプログラムを呼び出して文書を表示します。販売したビデオのリストや、Microsoft Word で書かれたメモを表示できます。ニューヨーク店のマネージャーのメモには、収益の大幅な増加の理由についての概要が書かれています。同様に、Hollywood Online Web ページにナビゲートできます。これは HTML ファイルですが、URL を指定して、実際の Web サイトを開くことができます。

これらの文書を表示するには、Discoverer から外部アプリケーションにドリルアウトします。

### ドリルアウト

「NY Sales Increase」ワークシートで、Microsoft Word 文書をダブルクリックします。

Discoverer が Microsoft Word を起動し、選択した文書を表示します。ニューヨーク店のマネージャーからの本社宛のメモも表示されます。

Word 文書の読み終わったら、Word を終了し、Discoverer に戻ってください。

# 12 他のフォーマットによるデータのエクスポート

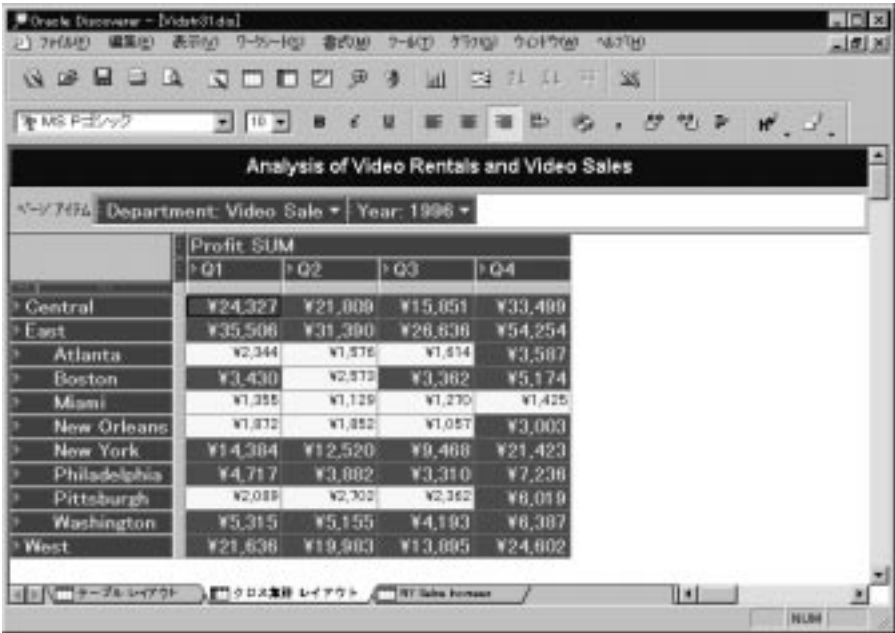
ワークシートを .HTM、.TXT、MS Excel、その他の形式で保存できます。この機能は、Discoverer を使用していない人にレポートを配布する際に役立ちます。

## 12.1 データを .HTML ファイルとしてエクスポート

この項では、Vid31ja.DIS ワークブックのワークシートを Web ブラウザから表示できるドキュメントにエクスポートする方法を示します。

- 1. Vid31ja.DIS 内の「クロス集計レイアウト」タブをクリックする。
- 2. 「Month」から置換ドリルを実行して、「Quarter」の収益だけを表示する。

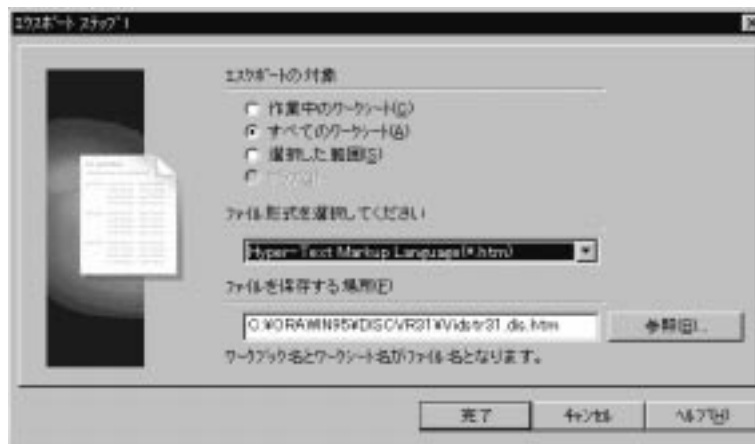
注意：  
このプロセスの詳細は、[第 4.2 項の「置換ドリルの実行」](#)を参照してください。



The screenshot shows the Oracle Discoverer interface with a cross-tab report titled "Analysis of Video Rentals and Video Sales". The report is filtered by "Department: Video Sale" and "Year: 1996". The data is presented in a table with "Profit SUM" as the row header and "Q1", "Q2", "Q3", and "Q4" as the column headers. The rows list various departments: Central, East, Atlanta, Boston, Miami, New Orleans, New York, Philadelphia, Pittsburgh, Washington, and West. The values are in Japanese Yen (¥).

	Q1	Q2	Q3	Q4
Central	¥24,327	¥21,009	¥15,051	¥33,489
East	¥35,506	¥31,390	¥26,636	¥54,254
Atlanta	¥2,344	¥1,576	¥1,414	¥3,587
Boston	¥3,430	¥2,572	¥3,362	¥5,174
Miami	¥1,355	¥1,129	¥1,270	¥1,425
New Orleans	¥1,872	¥1,852	¥1,057	¥3,003
New York	¥14,384	¥12,520	¥9,468	¥21,423
Philadelphia	¥4,717	¥3,882	¥3,310	¥2,236
Pittsburgh	¥2,089	¥2,702	¥2,352	¥6,019
Washington	¥5,315	¥5,155	¥4,183	¥6,387
West	¥21,636	¥19,903	¥13,895	¥24,802

3. メニューから「ファイル」「エクスポート」と選択する。「エクスポート」ダイアログ・ボックスが表示されます。



4. 「すべてのワークシート」を選択し、ファイル形式に「Hyper-Text Markup Language (\*.htm)」を選択する。
5. エクスポートするファイルを保存するディレクトリを選択する。ファイル名は自動的に付けられます。
6. 「完了」をクリックする。

Discoverer は、ワークブック内のすべてのワークシートを指定したディレクトリに .htm 形式で保存します。

Windows 95 のエクスプローラー上でこのファイルをダブルクリックすると、ファイルを表示できます。ファイルの名前は次の規定に従って付けられます。

Vid31ja.DIS クロス集計レイアウト .htm  
 Vid31ja.DIS NY Sales Increase.htm  
 Vid31ja.DIS テーブルレイアウト .htm

ファイルをダブルクリックすると、Web ブラウザが起動し、結果が表示されます。



Analysis of Video Rentals and Video Sales

ページ アイテム Department: Video Sale Year: 1996

		Profit SUM			
		Q1	Q2	Q3	Q4
Central		¥24,327	¥21,809	¥15,851	¥33,499
East		¥35,506	¥31,390	¥26,636	¥54,254
	Atlanta	¥2,344	¥1,576	¥1,614	¥3,587
	Boston	¥3,430	¥2,573	¥3,362	¥5,174
	Miami	¥1,355	¥1,129	¥1,270	¥1,425
	New Orleans	¥1,872	¥1,852	¥1,057	¥3,003
	New York	¥14,384	¥12,520	¥9,468	¥21,423
	Philadelphia	¥4,717	¥3,882	¥3,310	¥7,236
	Pittsburgh	¥2,089	¥2,702	¥2,362	¥6,019
	Washington	¥5,315	¥5,155	¥4,193	¥6,387
West		¥21,636	¥19,983	¥13,895	¥24,602

### 12.2 レポートを添付ファイルとして電子メールで送信する

ご使用の電子メールのアプリケーションが MAPI をサポートしている場合、Discoverer のワークシートを電子メールで送信できます。

注意：

「ファイル」メニューで「送信」項目を選択できない場合は、ご使用の電子メール・アプリケーションはこの機能をサポートしていません。次の第 13 項「ワークブックの作成」に進んでください。

1. メニューから「ファイル」「送信」と選択する。「メールの準備」ダイアログ・ボックスが表示されます。



2. 「作業中のワークシート」と「添付ファイル」をクリックし、ファイル形式から「テキスト（タブ区切り）」を選択する。
3. 「送信」をクリックする。

---

注意：

これ以降は、Discoverer での操作ではなく、Microsoft インタフェースと電子メール・アプリケーションからの操作となります。したがって、実際の操作は多少異なっていることがあります。Discoverer のワークブックやワークシートを他のファイル形式で送信する場合の詳細については、Discoverer ユーザーズガイドの「4.3 データのエクスポート」を参照してください。

---

以上で、Discoverer の機能のうち、ビジネス分析および意思決定に関係している多くの機能をマスターしたことになります。ワークシートの書式設定方法、情報の選別方法などを既に学びました。続ける前に、ワークブックを保存しましょう。次は、ワークブックを作成する方法について学びます。

## 13 ワークブックの作成

これまでは他の人が作成したワークブックのデータを見てきました。しかし、ワークブックとして作成されていない別の情報が必要になることがあります。その場合は、ワークブックウィザードを使用して、新規ワークブックを作成できます。

この項では、新規ワークブックの作成に必要な次のステップを完了します。

- 新規ワークブックのデフォルト書式を設定する
- 情報を表示するレイアウトを選択する
- 情報を収集するエリアを選択する
- 表示する情報を選択する

### 13.1 デフォルト書式の変更

新規ワークブックを作成する前に、デフォルト書式を設定します。既存のワークブックを閉じる必要はありません。既に開いているワークブックが変更されることはありません。ここで設定するデフォルト書式は、書式が定義された後に作成されるワークブックに対してのみ有効となります。

1. メニューで「ツール」 「オプション」と選択する。  
「オプション」ダイアログ・ボックスが開きます。



2. 「書式設定」タブを選択する。
3. 「デフォルト書式」リストで「データの書式設定」を選択する。
4. 「変更」をクリックする。「データの書式設定」ダイアログ・ボックスが開きます。
5. フォント、サイズ、スタイル、および色を変更し、データ外観を定義する。  
「サンプル」ボックスで変更内容をプレビューします。
6. 「背景色」タブを選択し、背景色を選択する。
7. 「OK」をクリックして、「データの書式設定」ダイアログ・ボックスを閉じる。
8. 「OK」をクリックして、「オプション」ダイアログ・ボックスを閉じ、変更内容を適用する。

この設定内容は新規ワークブックの作成時に適用されます。ヘディング、ワークシートのタイトル、総計、または例外のデフォルト書式を変更するには、上記のステップに従い、適切な書式を「デフォルト書式」リストから選択してください（ステップ3）。

## 13.2 ワークブック ウィザードを使用してワークシートを作成

ビデオ販売店の例を使用して、全地域および部門の総収益を調べ、極端に成績のよい地域を検索します。

1. メニューから「ファイル」「ワークブックの新規作成」を選択する。「ワークブックウィザード」が開きます。



2. 「ページディテールテーブル」を選択し「次へ」をクリックする。「ワークブックウィザード ステップ2」が表示されます。

### レポートに必要なビジネスエリアとデータの選択

「ワークブック ウィザード ステップ 2」では、レポートに必要なビジネスエリアとデータを選択します。「使用可能」リストにデータベース管理者が設定したビジネスエリアがすべて表示されます。

1. 「ワークブック ウィザード ステップ 2」で、「使用可能」ドロップダウン・リストから「Video Stores Tutorial 3.1」を選択する。



2. フォルダの横の「プラス (+)」をクリックして、「Video Analysis Information」フォルダを表示する。
3. 次のアイテムをクリックして選択し、「選択済み」エリアにドラッグする。
  - 「Profit」
  - 「Region」
  - 「Year」

---

ヒント：

スクロールバーを使用すればすべてのアイテムを見ることができます。また、ダイアログ・ボックスの外枠をクリックしてドラッグし、サイズ変更を行って詳細な情報を表示することもできます。

---



4. 「Department」アイテムの「+」ボタンをクリックし、リスト内の次のアイテムを選択する。
  - 「Video Rental」
  - 「Video Sale」

ヒント：

[Ctrl] キーを押しながら複数のアイテムを選択できます。



5. 「次へ」をクリックする。「ワークブック ウィザード ステップ 3」が開きます。

### 13.3 ワークシートのレイアウトの変更

「ワークブック ウィザード ステップ 3」では、Discoverer が問い合わせを行う前に情報のレイアウトを変更できます。ビデオ販売分析のレイアウトを変更します。

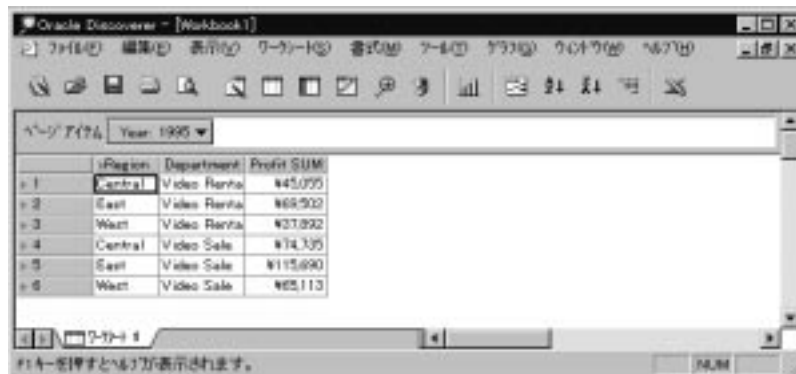
1. 「Year」をクリックして、上軸からページ軸へドラッグして移動する。
2. 「Department」をページ軸から上軸に移動する。
3. 列をクリックしてからドラッグして順序を変更する。

順序は、「Region」、「Department」、「Profit SUM」にします。



4. 「完了」をクリックする。

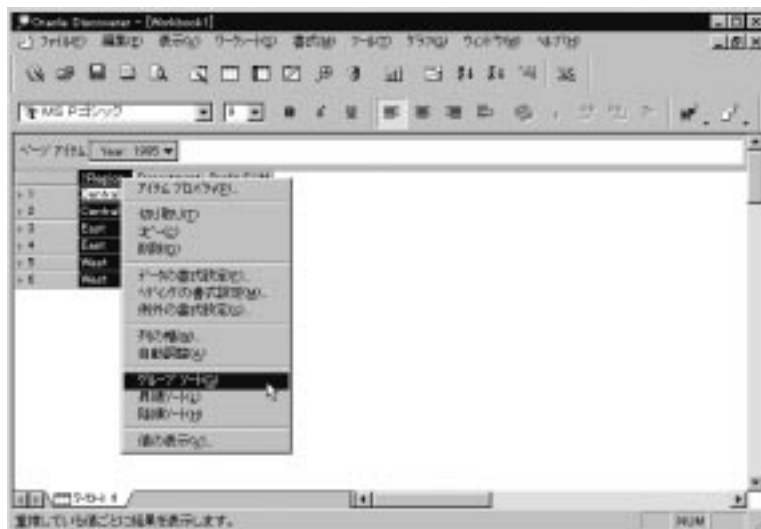
これで、1995 年のビデオ販売およびレンタルの地域別収益を示すワークシートを含むワークブックが作成されました。



## 13.4 データのソート

データのソートとは、データを一定の規則にのっとった順序に並べ替えることです。この項では、新規ワークシート内のデータを地域別にソートする方法を示します。また、ソート中に書式設定の追加も行います。

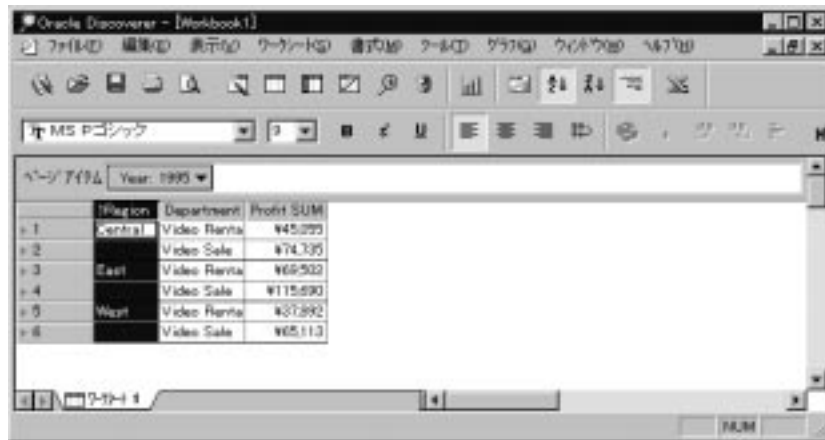
1. 上軸の「Region」アイテムを右クリックする。ドロップダウン・メニューが表示されます。



2. 「グループソート」を選択する。

現在データは地域別にアルファベット順にソートされています。地域データはテキストであるため、ソートをアルファベット順にするか、数値順にするか指定する必要はありません。Discoverer は適用するソート・タイプを判断します。

ここで、データを見やすくするため、線を追加し、各地域を分割します。同時に各地域内の収益データをソートします。これは、「二次ソート」と呼ばれ、データを最初に地域別に、次に各地域内の収益別にソートします。

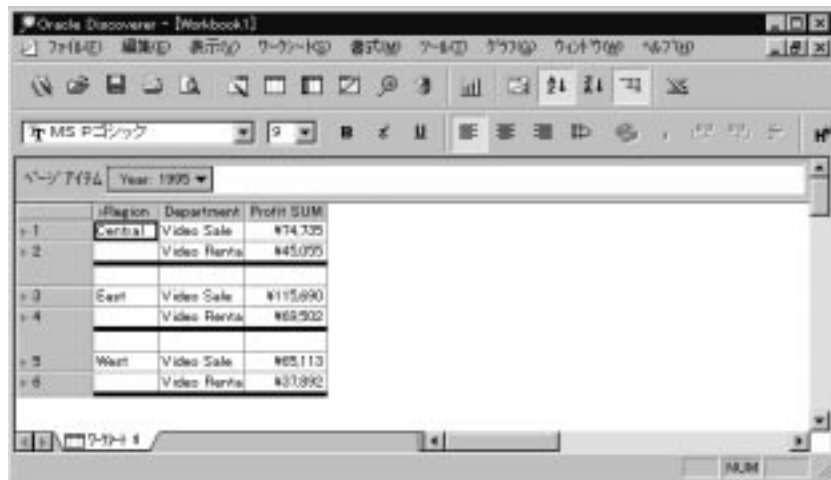


1. メニューから「ツール」「ソート」と選択する。「ソート」ダイアログ・ボックスが開きます。



2. 「Region」のドロップダウン・リストを使用して、線の太さを4に変更する。間隔を1に設定するには、フィールドの右の上矢印をクリックします。この設定で各地域のデータはより見やすくなります。
3. 「追加」をクリックし、「Profit SUM」を選択する。この操作は、「Profit SUM」を二次ソートとして追加します。
4. 矢印ボタンを使用して、「Profit SUM」のソート順序を「降順」に変更する。

5. 「OK」をクリックする。



Oracle Discoverer - [Workbook1]

MS Pゴシック

ページアイテム Year: 1995

	Region	Department	Profit SUM
1	Central	Video Sale	\$74,735
2		Video Rental	\$45,055
3	East	Video Sale	\$115,690
4		Video Rental	\$68,902
5	West	Video Sale	\$65,113
6		Video Rental	\$37,892

現在データは地域別にソートされています。各部門の収益は、各地域内でソートされ、収益の高い部門から順に表示されています。線をより太く、空白行を1行を追加したことにより地域ごとの収益がさらに見やすくなりました。

## 14 ユーザー定義アイテムの作成

パーセント、平均値、および総計などのユーザー定義アイテムは、Discovererの「ツール」メニューを使用すると計算が楽です。この項では、複数のユーザー定義アイテムに対し、「ツール」メニューのメニュー項目の使用方を示します。さらにユーザー定義アイテムの結果を強調するためのその他の書式設定機能を示します。

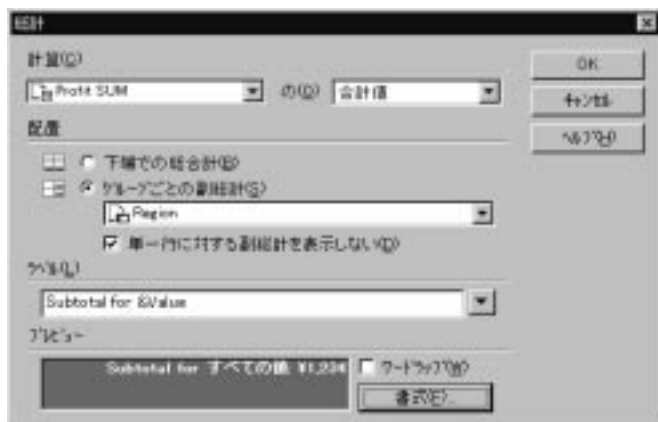
### 14.1 総収益の計算

全地域の総収益を計算することによって、各地域および部門がその年の総計に貢献したかを分析できます。

1. メニューから「ツール」 「総計」と選択する。「総計」ダイアログ・ボックスが開きます。



2. 「総計の表示」リストから、「Profit SUM」を選択し、「新規作成」をクリックする。「総計」ダイアログ・ボックスが開きます。



3. 計算で、「Profit SUM」の「合計値」を選択する。
4. 「グループごとの副総計」を選択し、「Region」を指定する。
5. 「ラベル」フィールドで、「Subtotal for 」とタイプする。

6. 「ラベル」の右の下矢印をクリックし、「値の挿入」を選択する。

これによってワークシートに表示される総計の名前が定義されます。「&Data」は変数で、データ ポイント名と置換されます。この場合は「Profit SUM」です。

7. ダイアログ・ボックスの下にあるユーザー定義アイテムの書式をプレビューする。

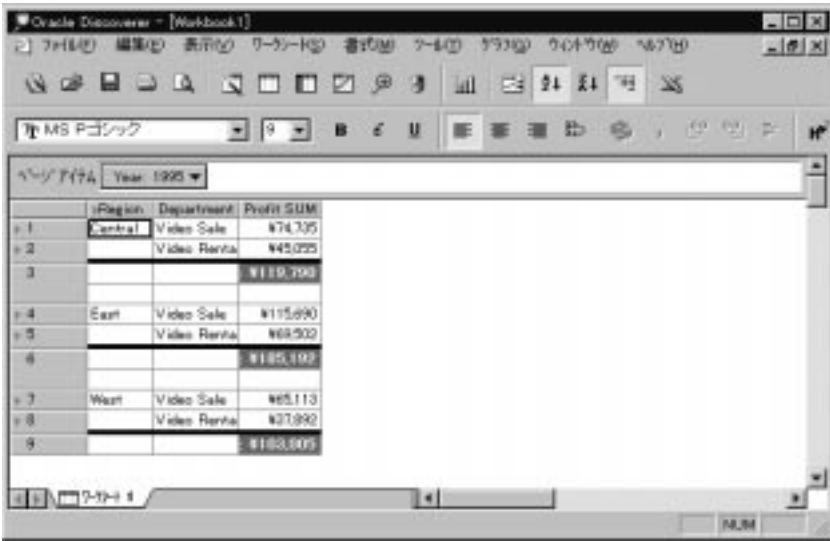
オプション・ステップ: 「書式」をクリックして、ユーザー定義アイテムの外観を変更する。「データの書式設定」ダイアログ・ボックスが開きます。テキストの書式設定、背景色の変更ができます。「OK」をクリックし、変更を入力して、ダイアログ・ボックスを閉じます。

8. 「OK」をクリックし、総計を確認する。

「総計」ダイアログ・ボックスで、今作成した総計が選択されていることを確認してください。



9. 「OK」をクリックし、総計を表示する。



The screenshot shows the Oracle Discoverer interface with a Pivot Item table. The table has three columns: Region, Department, and Profit SUM. The data is organized by region, with each region having two rows for Video Sales and Video Rentals. The final row shows the total profit for all regions.

	Region	Department	Profit SUM
1	Central	Video Sales	\$74,305
2		Video Rentals	\$45,035
3			\$119,340
4	East	Video Sales	\$115,690
5		Video Rentals	\$68,502
6			\$184,192
7	West	Video Sales	\$65,113
8		Video Rentals	\$37,892
9			\$103,005

総計が全地域の総収益を表示する新規の行として表示されます。次の項では、この情報をすべて表示するため、列幅の変更方法を示します。



## 14.2 列幅の自動調整

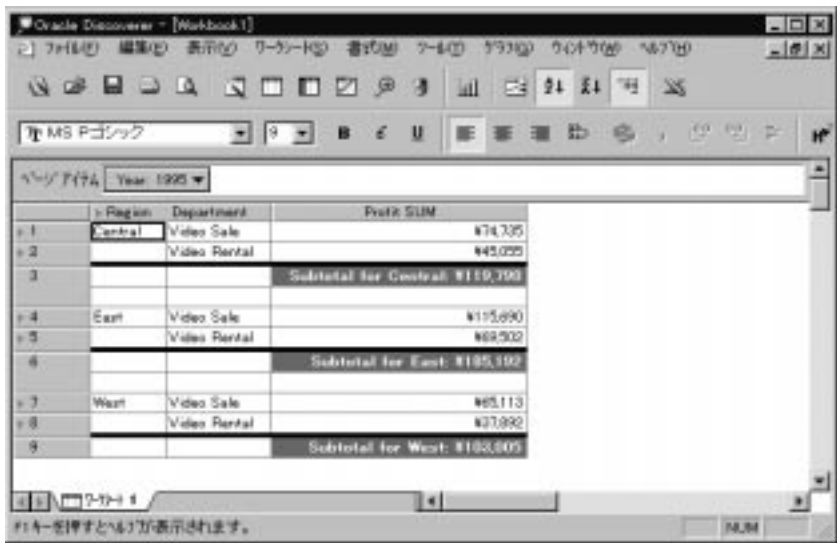
今作成した総計の名前は完全には表示されていません。Discoverer では、すべてのデータを表示できるように列幅を自動調整できます。

1. メニューから「ツール」「オプション」と選択し、「テーブル」タブを選択する。



2. 「列の幅」で、「自動調整」を選択する。

3. 「OK」をクリックする。



列幅を広げたので、前に追加した総計が完全に表示されました。

### 14.3 パーセントの計算

次に、各地域の収益のパーセントが会社の総計にどの程度貢献しているかを調べます。このパーセントを簡単に追加できます。

1. メニューから「ツール」「パーセント」と選択する。「パーセント」ダイアログ・ボックスが開きます。



2. 「新規作成」をクリックする。「パーセント」ダイアログ・ボックスが開きます。



3. 「パーセントの計算対象」で「Profit SUM」を選択する。
4. 「パーセントの比較元 (100% に相当する値) を指定してください」で、「総合計」を選択する。

- 「列ヘディング」フィールドに、わかりやすい名前をタイプするか、デフォルト形式のヘディングを使用する。
- パーセントの外観を書式設定するには、このフィールドの右にある書式ボタンをクリックする。表示されたダイアログ・ボックスでデータを書式設定します。「OK」をクリックして指定した書式を適用し、「パーセント」ダイアログ・ボックスに戻ります。
- 「OK」をクリックする。  
「パーセント」ダイアログ・ボックスで、今作成したパーセントが選択されていることを確認してください。
- 「OK」をクリックし、選択したパーセントを表示する。

Oracle Discoverer - [Workbook1]

MS Pゴシック

Year: 1995

	Region	Department	Profit SUM	% Profit of Grand
1	Central	Video Sale	\$74,735	10%
2		Video Rental	\$45,025	11%
3			Subtotal for Central: \$119,760	
4	East	Video Sale	\$115,690	20%
5		Video Rental	\$68,932	17%
6			Subtotal for East: \$184,622	
7	West	Video Sale	\$65,113	16%
8		Video Rental	\$37,992	9%
9			Subtotal for West: \$103,105	

これで、各部門に関する各地域の収益を、2 部門連結の総収益と比較して計算しました。

## 14.4 表レポートをクロス集計として複製

この項を始める前に、ワークシート名を「テーブル・レイアウト」に改名します。詳細は、[第 10 項の「ワークシートの名前変更」](#)を参照してください。

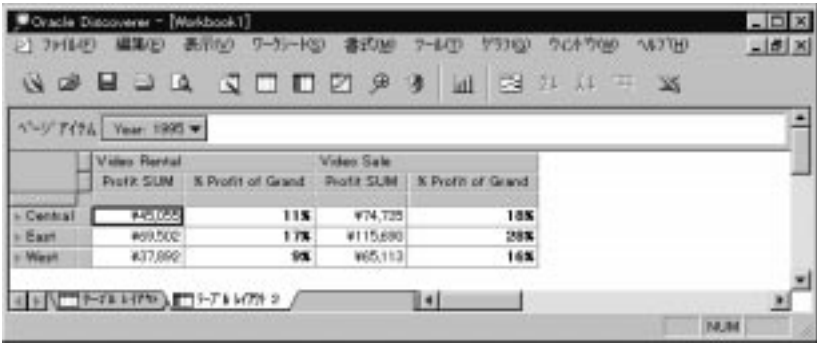
1. メニューから「ワークシート」「クロス集計として複製」と選択する。「クロス集計として複製」ダイアログ・ボックスが開きます。

「Year」はページアイテムとしてそのまま残り、「Region」が左軸に、「Profit SUM」と「Department」が上軸に配置されていることを確認してください。



2. 「OK」をクリックする。

同じ情報が新規ワークシートにクロス集計として表示されます。前に作成した総計およびパーセントのユーザー定義アイテムがこのクロス集計ワークシートに再び作成されているのがわかります。



	Video Rental		Video Sale	
	Profit SUM	% Profit of Grand	Profit SUM	% Profit of Grand
Central	\$45,000	11%	\$74,725	18%
East	\$69,500	17%	\$115,680	28%
West	\$37,890	9%	\$65,113	16%

ヒント:

「Profit SUM」列の幅変更にはセルの右端をダブルクリックします。

テーブルの列の幅を自動調整するように設定した方法と同じ方法で、クロス集計についても列の幅を自動調整するように設定することができます。詳しくは第 14.2 項の「列幅の自動調整」を参照してください。

- 3. このワークシートの名前を「クロス集計レイアウト」に変更する。

## 14.5 新規ワークブックの保存

1. メニューから「ファイル」 「保存」と選択する。「ワークブックの保存」ダイアログ・ボックスが表示されます。



2. 「ワークブックの保存」ダイアログ・ボックスで、「マイ コンピュータ」を選択し、この新規ワークブックを自分のコンピュータまたはネットワーク・ドライブのディレクトリに保存する。
3. 「保存」をクリックする。
4. 「名前を付けて保存」ダイアログ・ボックスで、「Discvr31」フォルダに移動する。
5. ワークブックに名前を付け、「保存」をクリックする。

## 14.6 ワークシートへのアイテムの追加

1995 年の各地域および部門の収益のパーセント計算が完了しました。ここで、1 単位当たりの平均収益の計算、最高の収益ならびに収益マージンをあげた地域の分析をします。

East 地域の高い収益はすでに分かっています。そこで、この地域の収益および収益の傾向を分析するために、ワークシートに別のデータ ポイントを追加します。

1. メニューから「ワークシート」「ワークシートの編集」と選択する。「ワークシートの編集」ダイアログ・ボックスが開きます。

注意：

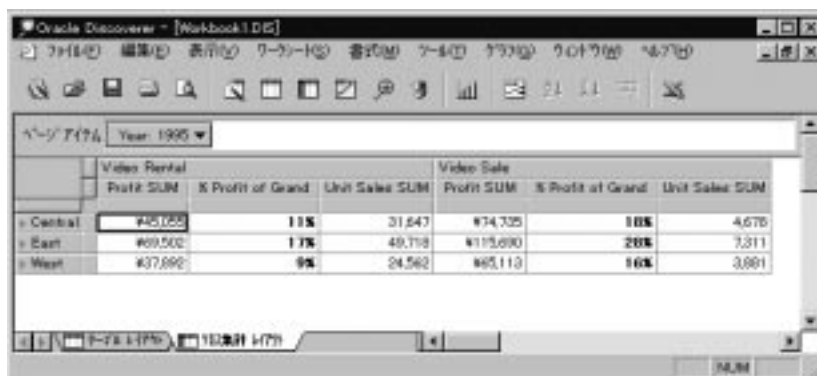
グレー表示されているフォルダにはアクセスできません。これらのアイテムはワークシートに現在含まれている情報には関連がないか、または結合されていません。



2. 「+」ボタンをクリックして、「Video Analysis Information」フォルダを開く。
3. 「Unit Sales」を「選択済み」エリアにドラッグする。
4. 「OK」をクリックして、そのアイテムをワークシートに追加する。Discoverer がデータベースからデータを取り出すまで待ちます。



収益に対応する各地域の1単位当たりの収益を見てください。この追加情報を使用して、販売アイテム当たりの平均収益をいつでも計算できます。

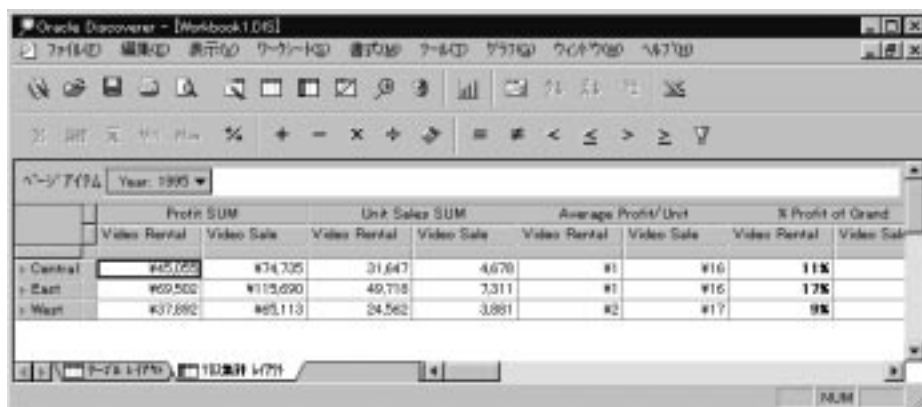


Oracle Discoverer - [Workbook1.DDE]

ページアイテム Year: 1995

	Video Rental			Video Sale		
	Profit SUM	% Profit of Grand	Unit Sales SUM	Profit SUM	% Profit of Grand	Unit Sales SUM
Central	#45,125	11%	31,647	#74,735	18%	4,678
East	#69,502	17%	49,718	#115,690	28%	7,311
West	#37,692	9%	24,562	#65,113	16%	3,881

ここでメジャーの下に「Department」をピボットすると、両方の部門のオブジェクトがすべてのメジャーアイテムの下にリストされます。各メジャーアイテム（「Profit SUM」、「Unit Sales SUM」、「%Profit of Grand」）の下に「Department」アイテムを移動しましょう。



Oracle Discoverer - [Workbook1.DDE]

ページアイテム Year: 1995

	Profit SUM		Unit Sales SUM		Average Profit/Unit		% Profit of Grand
	Video Rental	Video Sale	Video Rental	Video Sale	Video Rental	Video Sale	Video Rental
Central	#45,125	#74,735	31,647	4,678	#1	#16	11%
East	#69,502	#115,690	49,718	7,311	#1	#16	17%
West	#37,692	#65,113	24,562	3,881	#2	#17	9%

## 14.7 平均値の計算

各地域の販売アイテム当たりの平均収益を計算すれば、地域間で収益マージンに違いがあるかが分かります、

1. 「Profit SUM」を選択し、[Ctrl] キーを押しながら、その右の「Unit Sales SUM」を選択する。両方の列が選択されます。
2. 分析バーで、「÷」をクリックする。「割り算」ダイアログ・ボックスが表示されます。

---

注意：

分析バーが見つからない場合は、メニューから「表示」 「分析バー」と選択します。

---



3. 「名前」フィールドに、「Average Profit/Unit」と入力する。
4. 「定義内容」ボックス内で、「Profit SUM」と「Unit Sales SUM」がそれぞれリストされます。

5. 「OK」をクリックする。

ヒント：

見やすくするためには、「%Profit of Grand」をワークシートの右端までドラッグして移動します。

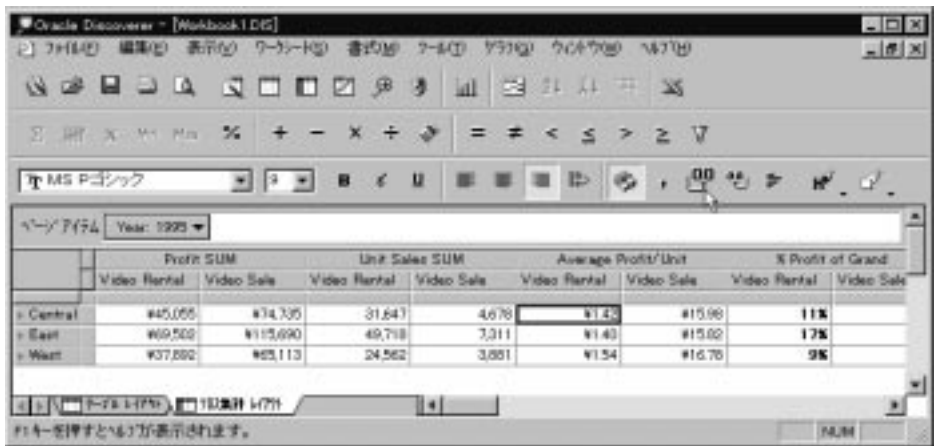
	Profit SUM		Unit Sales SUM		Average Profit/Unit		% Profit of Grand	
	Video Rental	Video Sale	Video Rental	Video Sale	Video Rental	Video Sale	Video Rental	Video Sale
Central	#51,025	#74,705	31,647	4,670	#1	#16	11%	
East	#59,562	#119,690	49,718	7,311	#1	#16	17%	
West	#37,692	#63,113	24,562	3,881	#2	#17	9%	

各販売単位の平均値が表示されます。

この種類の詳細情報では、小数点以下の値が必要な場合があります。この詳細情報を見るには、列の書式を変更します。

1. 新規ユーザー定義アイテム「Average Profit/Unit」の下にあるセルのどれかを選択する。

2. 「書式」バーの小数桁を増やすボタンを 2 回クリックする。



ここで、East 地域は非常に高い収益を示しているが、1 単位当たりの平均収益が一番低いことがわかります。「Unit Sales」のデータは、East 地区の販売量が他の地域を大幅に上回っていることを示しています。単位売上の数値が極端に高いので、収益マージンを増やし、他の地域と一致させるためには、この地域での値上げを考慮すべきです。

# 15 ワークブックのスケジュール

ワークブックの更新は、毎週または毎月規則的に行うことが望ましいです。実行時間の長い大きなワークブックに対してはこれは特に有効です。Discoverer のスケジュール機能を使用すると、たとえ接続されていない状態でも、ワークブックの更新を「オフ ピーク時」に、実行できます。

ワークブックのスケジュールを行う前に、このワークシートを「クロス集計レイアウト」に変更してください。詳細は、[第 10 項の「ワークシートの名前変更」](#)を参照してください。

1. メニューから「ファイル」「スケジュール」と選択する。「ワークブックのスケジュール」ウィザードが開きます。



2. 「ワークブックのスケジュール ウィザード ステップ1」ダイアログ・ボックスで、選択対象ワークシートのリストから「クロス集計レイアウト」を選択する。
3. 「時刻」フィールドで、ワークシートを今から10分間実行するスケジュールを設定する。日付は今日の日付にしておきます。
4. スケジュールしたプロセスが繰返されないように、「無期限」を選択する。
5. 「次へ」をクリックする。「ワークブックのスケジュール ステップ2」ダイアログ・ボックスが開きます。



6. ワークブックにわかりやすい名前を付け、説明をタイプする。
7. 「結果を自動的に削除」エリアでは「1日後」と設定する。
8. 「完了」をクリックする。

後でまたワークブックを開きます。

## 15.1 スケジュールされたワークブックを開く

1. メニューから「ファイル」→「既存のワークブックを開く」と選択する。「既存のワークブックを開く」ダイアログ・ボックスが開きます。



2. 「スケジュール マネージャ」を選択した後、「開く」をクリックする。「スケジュール済みワークブックを開く」ダイアログ・ボックスが開きます。



3. 先ほどスケジュールしたワークブックを選択し、「開く」をクリックする。

ウィンドウの上部に表示されるワークシートの名前が元のワークブック名です。スケジュール済みワークブックがデータベースに保存されているので、スケジュール済みワークブック名がそれに対する他の人に対し説明の役目を果たします。

4. このワークブックの問合せを実行するかをきかれたら、「はい」をクリックする。

前に作成したワークブックのクロス集計レイアウトと同一の新規ワークブック内にスケジュール済みワークブックの結果が表示されます。

これで、Discoverer User Edition の主な機能の学習は無事終了しました。ピボットやドリルの方法、さまざまなユーザー定義アイテムの定義方法、結果のグラフ表示、ワークブックのスケジュールなどいろいろ習得し、分析に必要な重要なレポートの生成を始めるためのツールはすべて揃いました。この分析が最終的にはより優れたビジネスの意思決定を可能にし、企業の生産性を高めることになるでしょう。

